

平成22年 ローソクボツケ分布量調査結果速報

北海道立総合研究機構稚内水産試験場調査研究部 電話：0162-32-7166

- 稚内水試では試験調査船北洋丸により、2003年以降、毎年9月と10月に稚内ノース場（811，812，813漁区）で着底トロールによるローソクボツケ（0歳魚）の分布量調査を行っています（図1）。この調査の目的は、新しく資源として加わる0歳魚の資源豊度を早期に評価し、資源の将来予測に役立てることです。調査では各漁区で原則2回の曳網を行い，その漁獲量から評価しています。今年は9月6～7日と9月30～10月1日に調査を行い、9月は各漁区2回ずつ計6回曳網しましたが、10月は時化のため計4回の曳網となりました。
- 図2に2003年から2010年までに稚内ノース場で採集されたホツケの体長組成を示しました。体長約23cm以下がローソクボツケです。今年（2010年）は9月、10月ともにローソクボツケの分布量は少なく、曳網1マイル当たりの平均漁獲量は9月が5.1kg/N.M.と2004年に次いで3番目に少なく、10月は過去最も低い値であった2006年と同じ0.1 kg/N.M.でした（表1）。
- ローソクボツケの来遊時期は年によって変動しており、2006年と同様に来遊が遅れている可能性も考えられるため、11月にも同じ調査を行うとともに、当業船でのローソクボツケの漁獲状況にも注視していきたいと思ます。

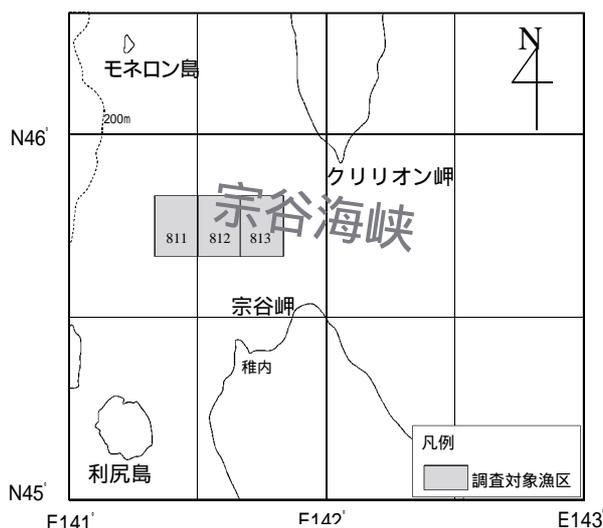


図1. 調査海域

表1 着底トロール曳網1マイル当たりの
ローソクボツケの平均漁獲量 (kg/N.M)

調査年	9月	10月	11月
2003年	71.0	147.7	データ無し
2004年	1.6	22.8	データ無し
2005年	114.2	185.9	データ無し
2006年	0	0.1	312.6
2007年	23.6	213.6	121.5
2008年	19.9	18.4	794.9
2009年	75.3	107.6	218.4
2010年	5.1	0.1	

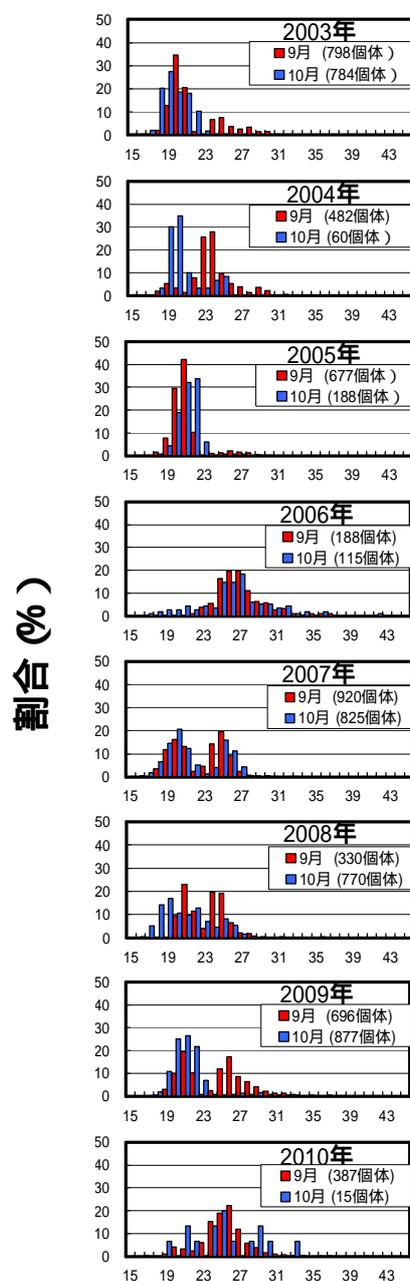


図2. 採集されたホツケの体長